

GIKAI DAYORI



おおぞら

OZORA

ぎかいだより

北海道大空町議会
平成29年(2017年)5月15日発行

44号

平成29年3月 定例会



大空に
人・花・心
育むまち

まちづくり宣言の
ロゴデザインが
決定しました

3月25日親子運動遊び(旧豊住小学校体育館)

「大空に人・花・心」 ～幸せを実感できるまちづくり～ 平成29年度まちの予算を議決!

- 平成29年3月定例会P8
◇東藻琴小学校体育館建設工事に
2億5,190万円を補正
- 平成29年2月臨時会P10
◇広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備に係る
工事請負契約を締結!
- 委員会レポートP18
- 「町民の声」榎尾 茂さんよりP20

町政を問う!! ～3月定例会～ 【一般質問:4名の議員が登壇】

- ☆品田好博議員
・女満別食品工場跡地(旧女満別中学校)の
正面玄関の校章についてP12
- ☆原本哲己議員
・新しい高校についてP13
- ☆上地史隆議員
・地域おこし協力隊の課題について ほか1件P15
- ☆松田信行議員
・本町における臨時職員等の処遇改善についてP16
ほか1件

大空町

検索

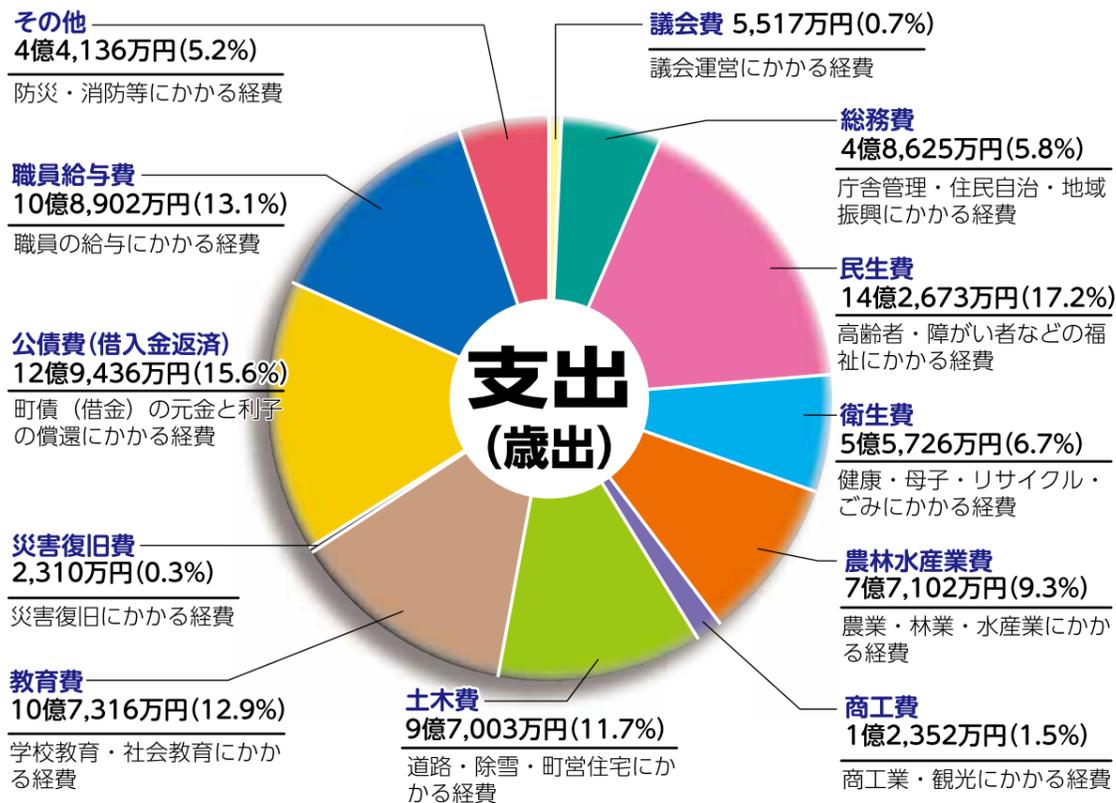
<http://www.town.ozora.hokkaido.jp>



「大空に人・花・心」

平成29年度一般会計及び特別会計の当初予算について、第1回定例会において予算審査特別委員会を設置・付託し、3日間にわたり審査を行い、全員

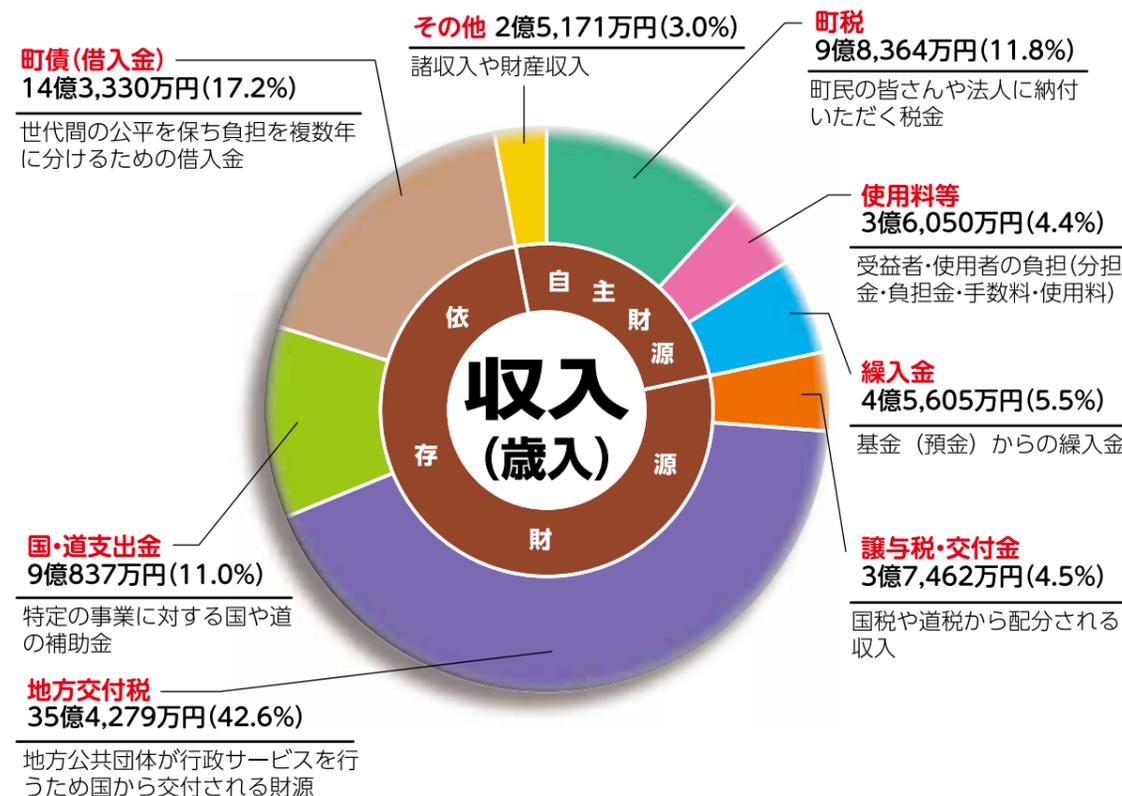
新年度まちの予算決まる!!



一般会計歳出合計
83億1,098万円

～幸せを実感できるまちづくり～

いて、第1回定例会において予算審査特別委員会を賛成で可決すべきものと決定しました。

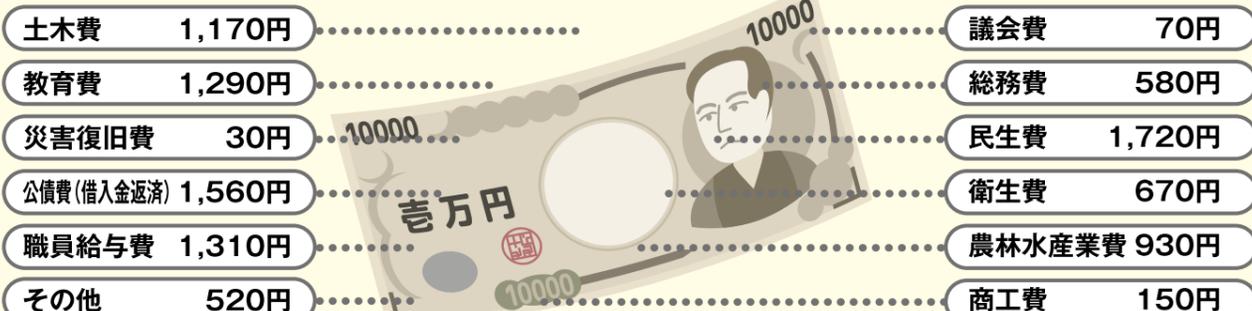


一般会計歳入合計
83億1,098万円

《各会計予算総額》

会計名	H29予算額	H28予算額	対前年比
一般会計	83億1,098万円	84億1,899万円	▲1.3%
国民健康保険事業特別会計	13億4,030万円	13億6,317万円	▲1.7%
後期高齢者医療特別会計	1億4,290万円	1億7,860万円	▲3.3%
介護保険事業勘定特別会計	7億6,092万円	7億4,919万円	+1.6%
介護サービス事業勘定特別会計	704万円	807万円	▲12.8%
簡易水道事業特別会計	3億5,306万円	3億5,065万円	+0.7%
下水道事業特別会計	4億1,375万円	3億5,347万円	+17.1%
個別排水処理事業特別会計	3,012万円	2,949万円	+2.1%
総予算額	113億2,046万円	113億8,089万円	▲0.5%

一般会計約83億円を1万円にしてみるとこんな感じ



各会計総額113億円超の予算!

新規

まちづくり宣言普及事業

まちづくりの普遍的理念として、生涯にわたる教育を「人」、農業を中心とした産業を「花」、心身の健康を「心」という言葉に込め、「大空に 人・花・心 育むまち」という幸せを実感できるまちづくりをめざし平成28年3月「大空町まちづくり宣言」の議決を行いました。ロゴデザイン等にて普及事業を行います。

大空に
人・花・心
育むまち



141万円

自治会活動支援交付金

継続

各自治会での活動を活発に行っていただくため、その支援として、個人町民税1%相当の各自治会への還元を今年も引き続き行います。

360万円



自治会活動の様子

継続

ふるさと応援寄附金事業

3,934万円

まちの農産物や加工品など特産品を全国にPRするとともに、ふるさと納税寄附者に対する感謝の意として返礼品を贈呈します。



大空町特産品を使った返礼品のラインナップ

今年の
まちのしごと
ピックアップ!

新規

共同埋葬墓建立事業

お墓の管理の不安解消と永代供養の要望に対応して共同埋葬を整備します。

632万円

いきいき子育て住宅支援事業

継続

1,700万円

町が分譲する宅地に住宅を新築して居住する子育て世帯に対して補助を行い、子育てしやすい住環境づくりを支援します。

継続

学校給食費補助事業

子育て世帯への経済的負担を軽減するため、小中学校等の給食費無償化を今年も引き続き行います。

2,857万円



継続

出産祝い金支給事業

まちの未来を担う子どもの誕生に対し出産祝い金支給を今年も引き続き行います。

300万円

5万円(出生児1人あたり)※2万円は大空町商工会商品券



平成29年度 予算審査特別委員会

～まちの予算を審議～

平成29年第1回定例会に提案された、平成29年度大空町各会計予算は、今後のまちづくりに大きくかわる重要な内容であることから、議会に「予算審査特別委員会」を設置して慎重に審議していくこととしました。

3月9日～13日の午前まで各課から個別の説明を受けて質疑を行い、13日の午後からは本会議形式で予算の全体を審議する「総括質疑」を実施

しました。慎重な審議の結果、平成29年度予算を提案された内容のとおり可決すべきものと決定し、本会議で出席議員全議員の賛成により可決されました。本特別委員会での総括質疑での質疑・答弁の概要をお知らせします。

※内容は要約しております。詳細は、両地区図書館または議会HPにある「会議録」をご覧ください。

☆一般会計☆

〔歳入〕

〔広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備事業債〕
(7280万円)

〔沢山委員〕 この7280万円にはロゴマーク分は入るか、今後の足場整備や関係機関協議はどう進めるか。

〔佐々木産業課長〕 この部分は起債対象外で農協負担金等となります。また、設置は足場での整備にて指名委員会に理由を付し決定します。時期的には夏頃を目途に整備が進むものと思います。

〔歳出〕

〔農地費に係る各種農業基盤整備事業〕

〔田中委員〕 町内農地に係る各整備事業の進捗状況はどうか。

〔中村産業課参事〕 道営事業は、女満別地域4地区、東藻琴地域2地区で、東部高台地区、開陽・日

進・朝日地区が完了いたします。湖南昭和地区はH33までの事業工期で概ね80%程度終了、南部地区は1〜2割の状況、豊住地区はほぼ未着手の状況、東藻琴地区中山間事業及び藻琴山麓地区は4割程度です。

〔田中委員〕 昨年、1昨年の雨の影響等で要望があるが、事業追加や延長はどうか。

〔中村産業課参事〕 道営事業は、要望量に対し予算配当は概ね30%ほど、工期は当初計画より1・2年延長される状況です。平成28年8月の台風については聞き取りにて追加することを道と協議をしています。どの程度要望があるかを踏まえ、どのように行つかは期成会と協議し努力していきたい。

〔地方公会計システム保守委託料〕
(64万円)

〔品田委員〕 保守委託料について、どこまで進んでいるのか、またどういう問題点が出てきている

のか。
〔藤田総務課長〕 H27年度決算状況をシステムに取り込み財務諸表に変換させている状況ですが、新しい基準に基づいた書類作成で固定資産の減価償却の基準となる年限が変わるなど、従来との数値の相違が出る場合がありますので、後ほどお示しをしたいと思います。

〔エキノコックス感染状況調査業務委託料〕
(104万円)

〔品田委員〕 この効果についてはすばらしい内容になっていますが、管内での反応はどうか。今後とも率先して行っていたきたい。

〔川口副町長〕 管内の副町村長会議等において、大空町で効果があったということ、経費・配布方法・キツネの出没調査を参考に行ったなど説明をいたしました。また、道を通じ広域的な取り組みについても意見を出してまいりたいと考えております。

〔ふるさと応援寄附金事業〕 (3934万円)

〔松田委員〕 新聞報道等で5割以上の過度な返礼金についての記事がありました。大空町の返礼品の考え方はどう整理されているのか。

〔山本住民課長〕 総務省では過剰な報償には規制しており、やはり5割を超えるものや商品券のような換金や転売のされるもの等も上げております。本町としても上限はやはり2分の1が限界と考えております。

〔山下町長〕 ふるさと応援寄附金については、大空町を全国的にPRするということを第一の目的として取り組むことが必要であると考えております。今後はご寄附をいただいたお金がどのようにまちづくりに使われているか、その目的に賛同してご寄附をいただく、そこが本来ではないかと思っております。これを考えてPRをしてまいりたいと考えております。

☆総括質疑☆

〔大空町まちづくり宣言(2017)〕

〔上地委員〕 昨年3月の議会において、町民・議会・行政がともに目指すまちづくりの普遍的理念として、大空に人、花、心育むまちづくり宣言を議決させていただきました。その普及促進に係る予算が反映され、この考えが町内外に伝わり、周知が進んでいけばと思います。ぜひこの予算が適切に使われるようお願いいたします。

〔地方創生事業について〕

〔品田委員〕 地方創生事業について、感触・手応え等をお聞きしたい。

〔山下町長〕 大空町まちづくり宣言を議会が行ったこと、改めたいこと、改めたいこと、敬意を表するところがあります。ここにある全ての予算がこの人・花・心、ここに行き着くものだと考えております。そのことを町民の皆さんにも感じ取っていただけるような仕組みを今後ともつくってまいりたい。

〔山下町長〕 地方創生事業、私どもの総合戦略に基づいた取り組みをさせていたただいております。町の人口を増やすということを一番の目標にし、どの世代の人たちがどういって環境を求め、どの世代を中心に移り住んでもらいたいのか、そのために方策を考え、その分析データを毎年積み上げていくことが次の一手につながるものと考えております。その分析の中で傾向というものをお知らせしていきたいと考えております。新年度の予算で動画の配信なども含めて大空町をPRしていく、そんな取り組みも行ってみたいと考えております。今後お諮りをしながら修正も含めてやっていかなければならないものと考えてございます。

〔大空町まちづくり宣言〕

秀峰華山を仰ぎ、美しい湖を眺めるこの地に、理想郷の夢を抱いた私たちの先人は、ともに苦闘を重ね、喜びを分かち合い、勤労とたゆまぬ努力によって郷土の礎を築きました。地域の繁栄を願い、子孫への遺産を大切にしたいその精神は、今もなお、誇り高き郷土愛として私たちの心に引き継がれています。



〔新年度予算執行について〕

〔松岡委員〕 29年度予算、ぜひとも細かいところまで目を通していただきたい。一つは通常の実勢価格と大きな差があること、常任委員会に出された資料に追加のものがあること、委員会にも説明をされていないこと、コンサルから出されたものの検証していない可能性があること、その金額が適正であるかをしっかりと精査し予算執行していただきたい。

〔山下町長〕 予算を執行するにあたり、私が職員に伝えていることは、もし自分のお金だったらその金額は高いと思うかどうか、その視点も必要だと言っております。そこにどれだけの能力、労力が必要かということも自分なりに判断し、それが高いか安いのか、その感覚も大切ではないかと思っております。それを職員に浸透させていくということの大変さも感じているところがございます。

〔齋藤委員〕 委託料の考え方について、例えば審査業務、データ編集、工事設計、施設点検、保守業務などいろいろな形が

〔委託料(2017)〕

〔齋藤委員〕 委託料の考え方について、例えば審査業務、データ編集、工事設計、施設点検、保守業務などいろいろな形が

平成29年3月 定例会(3/7~14開催)で 決定した主な内容をお知らせします。

(条例制定及び補正予算等について、全議員賛成で可決されました。)

※詳細に対する質疑・答弁内容は要約して掲載しています。
詳細は、両地区図書館にある「会議録」をごらんください。
また、議会ホームページにある「会議録」もごらんください。

●議会ホームページURL：
(<http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/>)

平成28年度一般会計補正予算

東藻琴小学校体育館建設工事に 2億5,190万円を増額補正!

平成28年度一般会計補正予算について、3月定例会にて審議を行いました。
主に東藻琴小学校体育館建設に係る工事費に2億5,190万円などを増額補正し、総額は176億2,867万円となりました。内訳は左の表をご覧ください。

補正予算の主な内容		
会計	補正予算額	補正後の総額
一般会計	△1億1,890万円	176億2,867万円
国民健康保険事業特別会計	△1,710万円	13億4,280万円
後期高齢者医療特別会計	△478万円	1億 308万円
介護保険事業勘定特別会計	△2,432万円	7億4,620万円
介護サービス事業勘定特別会計	△5万円	744万円
簡易水道事業特別会計	△1,490万円	3億3,808万円
下水道事業特別会計	△701万円	3億8,822万円
個別排水処理事業特別会計	△114万円	2,872万円

<一般会計>

【歳出】

事業内容	補正額
社会保障・税番号制度システム整備負担金	112万円
東藻琴小学校体育館建設工事	2億5,190万円
体育振興補助金	4万円
その他事業	△3億7,196万円

【歳入】

事業内容	補正額
町たばこ税	△304万円
臨時福祉給付金給付事務費補助金	27万円
畜産競争力強化整備事業補助金	△829万円
学校施設環境改善交付金	6,644万円
都市公園事業交付金	1,050万円
地域振興施設整備事業補助金	2,610万円
農業経営基盤強化資金利子補給金	△31万円
その他	△2億1,057万円

人事案件

平成29年6月30日で任期が満了することから、引き続き鎌田宏惇氏及び河崎琢哉氏の推薦について、また退任による後任委員として中鉢由美子氏の推薦について、それぞれ議会として適任と答申を行いました。



河崎 琢哉氏 鎌田 宏惇氏

教育委員会委員の任命



中鉢由美子氏

平成29年6月11日で任期が満了することから、退任による後任委員として三浦裕幸氏の任命について、議会として同意を行いました。

オホーツク町村公平委員会委員の選任



三浦 裕幸氏

平成29年3月31日で任

議員報酬等の減額の割合

欠席期間	減額の割合
90日を超え180日以内	100分の30
180日を超え365日以内	100分の40
365日を超えるとき	100分の50

期が満了することから、引き続き田村昌文氏の選任について、議会として同意を行いました。

条例

町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例制定
議員が傷病などにより長期間職責を果たすことができない場合、または住民の信頼に反する行為をした場合、これらの場合に議員報酬及び議員期末手当の減額や支給停止を行うため、条例の制定を行いました。

そのほか、①町職員の勤務時間、休暇等に関する条例改正、②町職員の育児休業等に関する条例改正、③老人等短期入所生活介護利用期間弾力化事業に関する条例改正、④町職員の給与に関する条例改正、⑤町臨時職員等の勤務条件に関する条例改正を行いました。

指定管理者の指定

町内施設の指定管理者の指定について、次の表の内容で提案され、議決を行いました。

指定管理者の指定

管理施設の名称等	指定管理者	指定管理期間
地域振興施設	大空振興商事株式会社 代表取締役 富田 勇	平成29年4月1日～ 平成34年3月31日まで

要望意見書

次の表のとおり、所管委員会で協議した結果、次の1件を議員配布対応とすることにしました。

★3月定例会の際に審議した陳情等の結果

番号	件名	採択	議員配布対応	継続審査
1	日本国憲法の尊重・擁護に関する要請		○	

議会だよりへの ご意見・ご要望を 募集します!

『議会広報常任委員会』では、より読みやすく、親しみやすい広報誌を目指して、常に検討しながら作業にあたっています。

皆様のご意見・ご要望をどんどんお寄せ下さい。お待ちしております。



【ご意見・ご要望などはこちらまで】

〒099-2392 大空町女満別西3条4丁目1番1号 大空町役場内
大空町議会事務局 TEL:0152-74-2111(内線265・266)

町政を問う!

(一般質問4人)



- ☆ しなだ よしひろ 品田 好博 議員 12ページ
1. 女満別食品工場跡地 (旧女満別中学校) の正面玄関の校章について
- ☆ はらもと てつみ 原本 哲己 議員 13ページ
1. 新しい高校について
- ☆ うえち ふみたか 上地 史隆 議員 15ページ
1. 地域おこし協力隊の課題について
2. 災害で発生した流木の活用について
- ☆ まつだ のぶゆき 松田 信行 議員 16ページ
1. 本町における臨時職員等の処遇改善について
2. 幼児教育の充実と環境整備について

平成29年第1回定例会では4人の議員から、町の施策などに関する一般質問が行われました
 ※質問、答弁の内容は、要約して掲載しています。
 詳細は、議会ホームページ
[\(http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/\)](http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/)
 及び両地区図書館で閲覧できる会議録をご覧ください。

「議会インターネット中継」のお知らせ

議会の情報公開を進めるため、インターネット上でライブ中継、録画映像を無料で配信できる「ユーストリーム」を活用し、議会審議状況のインターネット中継を行っています。
 傍聴に来られない方など、直接議場へお越しただかなくても、ご家庭などでご覧いただけます。ライブ中継のほか、録画映像の配信も実施しています。(議会後30日以内)

平成29年2月 臨時会(2/27開催)で 決定した主な内容をお知らせします。

(工事請負契約の締結2件などについて、全議員賛成で可決されました。)

※詳細に対する質疑・答弁内容は要約して掲載しています。詳細は、両地区図書館にある「会議録」をごらんください。また、議会ホームページにある「会議録」もごらんください。

●議会ホームページURL：
[\(http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/\)](http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/)

工事請負契約の締結

広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備に係る 工事請負契約を締結!

広域穀類乾燥調製貯蔵施設建設工事(穀類乾燥調製棟)
 指名競争入札の結果、三共後藤・河西特定建設工事共同企業体が契約金額62億2080万円で落札しました。工期は平成30年3月15日までとなっています。

広域穀類乾燥調製貯蔵施設建設工事(豆類製品貯蔵棟)
 指名競争入札の結果、ダイイチ・船橋西川特定建設工事共同企業体が契約金額11億1240万円で落札しました。工期は平成30年3月15日までとなっています。

広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備に係る工事請負契約について、2月臨時会にて審議を行い、関連する2契約について議決を行いました。
 2月24日に仮契約を締結し、本臨時会での議決後、本契約を行う予定です。

広域穀類乾燥調製貯蔵施設：完成予想イメージ図



ちょっと疑問?

広域穀類乾燥調製貯蔵施設ってどんな施設?
 →生産者が作った穀類を集めて乾燥します。そして選別し貯蔵庫やサイロで保管します。オホーツク管内全体の豆類を広域で集める施設です。

なるほどね!



専決処分

東藻琴スキー場のオープン前に雪上車が故障し、スキー場運営に支障があることから、専決処分を行い購入を行った旨報告があり、これについて承認を行いました。



新たに購入した雪上車

質疑と答弁
 松岡議員 今後、本契約ということですが、地元業者への発注機会が多くなるよう申し入れをお願いしたい。
 佐々木産業課長 さまざまな資材搬入、また下請業者につきましては、地元業者を活用していただけるよう要請をしていきたいと考えています。



品田 好博 議員

問 校章は処理することは出来ないか

答 建物所有者と相談の上、必要な対応を行いたい

品田議員 女満別食品

工場跡地の旧女満別中学校の正面玄関の校章についてであります。実は、現女満別中学校には違つた歴史があります。企業誘致として当時フタバ食品に売却されたものと思ひます。しかし、当初からなぜか旧女満別中学校正面玄関の校章は、外されることなく、そのままの形で、使用され、撤退後、今もなおそのままの玄関のいでたちをしております。昔の面影をそのままに放置されておるわけでありませう。卒業生として、また、母校を考へるときに、いつ見ても胸が痛みます。そこで、お尋ねでございますが、現中学校の改修時等にあわせて、この校章の処理をぜひ考へていただけないか。学校施設における校章の位置づけをまたその重みを意味合いを含め、対応していただくそのお考えをただすものであります。

渡邊教育長

旧女満別中学校校舎跡地につきましては、昭和48年にフタバ食品株式会社に売却さ

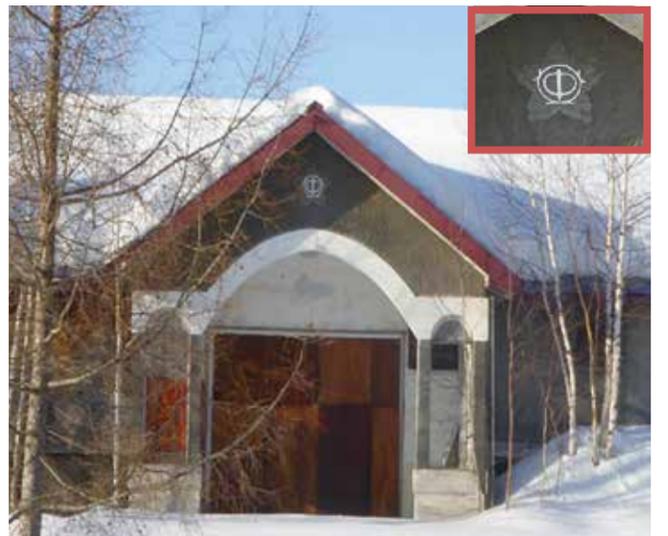


当時の旧女満別中学校の様子

おります。また、当時校章はそのまま残つたというところでありますけれども、校旗でありますとかその他備品でありますとか、必要な書類は今現在の女満別中学校にすべて引き継がれておりますので、歴史なりを引き継ぐという部分については、今もきちんと資料として残っているものと考えております。今の所有者の方と、今後ご相談をさせていただきながら、できることを対応してまいります。



一般質問



旧女満別中学校であった建物の現在の様子

れ、女満別食品工場として稼働が開始されております。それから30年後の平成15年2月に食品工場としての生産活動が中止となり、その後、旧校舎につきましては、未使用のまま現在に至っており、校章につきましては、現在も工場跡の正面玄関壁面にそのまま残っている状況で、モルタル塗りの壁に一体的に埋め込まれ、建築から60有余年が経ち、経年劣化がかなり進んで

いる状態でありませう。そのようなことから、仮に校章を取り外すこととなれば、校章本体もろともモルタル壁が崩落しかねないものと推測をしております。移設は現時点では難しいのかなと判断しております。しかしながら、教育委員会といたしましては、女満別中学校のシンボルであります校章をそのままの状態としておくことは決して望ましいこととは考へてはおりませう。

品田議員

現中学校の原点を知っている卒業生はいなくなつてきて、完全に忘れ去れてきている。その中で、校章だけが薄汚れた形でまだ残つていくということでもあります。人の記憶から消えてもいかに朽ち果てても、残っている。そういうものに私は、お願いを込めて、質問とさせていただきます。知恵ある者が受け継いで、それを処理していく、歴史は忘れられるものでなく、積み重ねていくんだと私は感じております。まして教育です。教育とはそういうものだと私は信じております。新しくすればいいというものはない。この古さの中で、若者が希望をもって、教育、学習をしてきた。そういう歴史が皆どの学校にもあるはずだ。新しい、古

渡邊教育長

当該の建物につきましては、時折当時のままの姿を見るにつけ、中学校時代を思い浮かべ懐かしさや、思い出に浸ることも私自身でございます。母校に対する思い入れは、人それぞれお持ちになつておられるかと思ひますが、古くなつてもそのままの姿がいいという方もおられると思ひますし、品田議員のように、悲しさを感じて心を痛めている、そのような方もおられるかと思ひます。建物が既に町の財産ではないということや、私自身そのままがいいのか何か手を加えるべきなのか。悩んでいる部分もございませう。校章はモルタル壁に強固に設置、埋め込まれている状況であるというのとは当時も同じではなかつたのかなと推測しております。なかなか移設も簡単ではなかつたのかなと推測をして



原本 哲己 議員

問 今ある二つの高校をどう新しくするのか

答 平成32年総合学科の開校を目指したい

原本議員

大空町の二つの高校は来年度の定員を下回ることが確実となり、大空町の高等学校教育を考へる協議会に検討を付託し、論議され、新しい総合学科の町立高校をつくる方向へと進んでまいりました。6回にわたる住民説明会等で町民の反応はどのようなものだったのか、どう感じ取られたか、また、今ある2校はいつ頃まで存続できるのか、また存続させる方法は考へられないのかお伺いしたい。

渡邊教育長

多くの御意見をいただきました。総合学科や二つの校舎の活用における質問が多く寄せられました。現行のまま高校2校を維持していくことは難しいということや、新しい高校においても農業をベースとしたカリキュラムが引き継がれていくこと、また、広く全国から生徒募集を行い、存続を図るといふ方向性については、御理解が得られたものと考へております。町立の全日制的総合学科の開校を目指すことで、再確認がな

されました。北海道教育委員会では、計画的に高校の再編を進めてきており、平成27年度に全ての屋間定時制の高校が廃止されたところでございませう。道内の屋間定時制高校6校につきましても、今後協議を進める必要があるとされております。現在、道立の女満別高校については既に再編の対象となつておられるところであり、町立の東藻琴高校につきましても、道との協議が進められていくことになつております。

原本議員

今回の総合学科という形の新しい高校を考へるにあたり、その基準となつた考へ方は何だったのか。また、大空町の高等学校教育を考へる協議会での議論の方向性を初めから決めて進んだということはないのか。その上で、全日制普通科、定時制農業科との継承、整合性はどのようなか。

渡邊教育長

協議会では、最終的に現在の東藻

原本議員

今回の総合学科の高校、あえて東藻琴の高校を農業科と呼びせていただくと、この東藻琴高校が多方面で話題となり、その実績、地域貢献などから、基幹産業の農業と深く結びついた高校として知られるようになってきています。今回の総合学科は、この職業科的要素を多く残した

高校と判断されます。それならば東藻琴高校に女満別高校を合併させる。またはその逆もありきという考え方はないかとも思います。あえて新しい高校をつくる意義、考え方をもう一度伺いたいと思います。

原簿議員 総合学科で当然増えるであろう人件費等の考え方についてもお聞きしたいと思っております。

渡邊教育長 仮に東藻琴高校に一つにまとめる場合については、定時制の農業高校となつて、単課の職業系高校として残ることになります。また、東藻琴高校の在校生の状況については、農業の担い手を志望されている方が全体の16%程度と、以前と比べ割合が減少し、その多くは他の分野の、進路を希望している実態であります。今の東藻琴高校の生徒の進路先は、多様な進路実現ができる高校を期待する生徒が多く占めているという中で、農業一本で存続させることは難しいのではないかなと思っております。また、町立高校として1校存続できても、農業分野を希望しない地元生徒にとつては、町立の高校が地元にあつても、地元への進学が閉ざされ、町外への通学を余儀なくされるといった一面も出てまいります。新しい高校として発展的な統合を目指すべきであるところのような結論を持ったところでございます。

原簿議員 総合学科の新しい高校をつくるという決定、それと開校時期を決める、それはいつの時期にするのか伺いたい。平成29年度中には決定するというところで理解してよろしいですか。

渡邊教育長 はい、そのように考えております。新しい高校をつくるという決定、それと開校時期を決める、それはいつの時期にするのか伺いたい。平成29年度中には決定するというところで理解してよろしいですか。

山下町長 大空町の教育全般に対する施策というものは私にとってまちづくりを進める中で、一番の一番に掲げなければならぬものでもありません。そのことを常に旨として取り組んできたところであり、私の役割と申しますのは、より多くの方々の意見を聞き、またさまざまな立場の方々の意見を拝聴し、現時点で将来にわたる将来を見据えて、どのような選択をすることが望ましいのか、そのことを責任を持って判断することだと考えております。その根底にありますものは、大

空町のまちづくりの根源にかかわるものだと考えております。この地域における高等教育、高等学校をなくしてはまちづくりはあり得ないと、そのように考えております。これまでの町民の皆さんのいろいろな議論、御意見を深く受けとめ、議会の御意見も賜りながら、町としての判断を行ってまいりたいと考えております。地域として、この高校を支えるという気運を高めて、いかなければならないと、さらに強く感じております。この地域全体で教育を支えるということも町としても取り組んでまいりたい、そのような決意を申し上げて、御答弁とさせていただきます。

渡邊教育長 両高校に對する、町の実質負担といたつて、おおよその額で4000万円ほどであります。新しい高校では8000万円とほぼ倍の額が負担額となり、増額の約半分の2000万円は、教員の増員に係

原簿議員 多くの中学生に關心を持ってもらい、総合学科として進学も目指せ、就職に向かつての選択もできることが可能な魅力のある高校をつくることが大切だと思います。中学生に進学したいと思われる高校、父兄も

渡邊教育長 自然は一番の教科書である、そのように言った先生がおります。大空町には、自然を初めとした教育資源が豊富に揃つておりまして、空港のある町として、大きな可能性を秘めたまちであると思っております。厳しい現実に立ちすくむではなく、あらゆる可能性を開花させるため、熱意をもって立ち向かつていきたい、そのように考えております。今、お話がありましたように、大空町の高校の今持つてる魅力をしっかりと

山下町長 過去には、地域の中でこういう人材が不足しているということ、募集した経過は、我が町でもございます。一つには、乳酪館におけるチーズを製造開発する、そういう技術を持った方に来ていただけないだろうか、さらには、町営



上地 史隆 議員

問 地域おこし協力隊の現状、また今後増員はあるか

答 現在は2名であるが、今後必要となれば対応を行いたい

上地議員 地域おこし協力隊ですが、都市部の若者が自治体の募集に応じて地方に移り住み、最長で3年間、国から生活費などの支援を受けながら、住民の生活支援など、地域の活性化に取り組むものです。平成21年度から始まったこの制度は、総務省によりまして、去年の隊員数は前の年のおよそ1.5倍の4158人となり、政府が目標としていた4000人を上回りました。さらに任期を終えた隊員の中には、地域で起業し、定住を希

望する人が多いことから、研修を充実させるなど、支援を強化しようとしています。我が町にも、地域おこし協力隊がいます。が、実際にどのような活動をされているのか、また定住に向けてどのようなサポートをしているのか。

山下町長 平成27年3月からこの制度を導入し、現在2人の隊員を移住定住支援員、観光推進員として任用しております。移住定住支援員は、町内に移り住もうとする方々

の総合窓口としての相談対応や総合戦略に掲げるさまざまな支援事業の紹介、移住定住人口を増やすための積極的な情報提供を行っております。観光推進員は、観光情報の発信、観光パンフレットの作成、観光振興計画の策定業務のほか、各種イベントの運営協力なども行っているところで、地域での暮らしを体感しながら地方への定住、定着を図る取り組みを推進しております。任期を終了した後も地域に残り、新たな事業を始めるなど、定住できるための支援として、研修事業がございます。国や北海道などが主催するスキルアップ研修、また、民間団体が主催する他の自治体隊員との交流研修事業化に向けた研修、任用年数に応じた計画的な研修プログラムへの参加支援などが主な内容となっております。受け入れ側の責務として、隊員の意思を尊重しながら、しっかりとサポートしていかなければならないものと考えております。

が、我が町ではどのように処理しているのか。

問 災害で発生した流木の活用をどのように行うか

答 廃棄物の再活用や町民への還元を考えてまいりたい

上地議員 大雨などの自然災害で発生した流木は、河川やダムを管理する国や道、自治体が廃棄物として主に土中に埋めて処理をされていますが、昨年度に道内を襲った台風では、広範囲で大量だったため、迅速に処理する必要があります。そこで、道が調整役となり、流木を回収処理する自治体と利用する木材会社などの仲立ちを開始いたしました。このように、流木の処理活用ではこの自治体も苦労しています

山下町長 昨年8月から9月の台風による暴風雨で、多くの流木が発生をいたしました。網走湖では、処理方法等について網走開発建設部河川事務所、西網走漁業協同組合と協議を行い雪解けを待つて順次処理を行っていただくこととなっております。町が最終処分場などに搬入したものにつきましては、強風により折れた木とか枝などが主



観光推進員の安倍利夫さん



移住定住支援員の幸田勝晴さん

なものとなっており、こういったものにつきましては、町の最終処分場へ運び、一時堆積を行い、1000立米ほどに溜りましたら、委託をして破砕処理機で小さく粉砕し、生ごみ堆肥とまぜ合わせて、堆肥化を行うなどの減容化を試みています。

上地議員 南富良野町で流木を燃料に加工する準備が進んでおり、雪解け後に国や道が中心市街地に流木を集める計画があります。

和歌山県では、希望者に無償提供し、全体で2割程度の削減につなげました。このように今後の再利用は考えていないのか。

山下町長 ただ、町の最終処分場に入れてしまうと、許容量に影響を及ぼしてしまいます。そのことで最終処分場がいっぱいとなって、最終処分場を造成しなければならぬとなると、さらに大きな経費が掛るものとも思われます。泥などの付



町民による湖畔清掃



災害等で発生した流木



松田 信行 議員

問 職員や臨時職員数の状況、勤務条件改善への取組みはどうか

答 非常勤職員への期末手当の支給を行いたい

松田議員 職員数と臨時職員等の数の現状並びに推移と勤務条件の改正の取り組みについて伺います。

山下町長 職員数の推移は、組織機構の見直し、指定管理制度の導入、外部委託等の推進など、事務事業の見直しを図り、行政サービスの低下を招くことなく、効率的で町民のニーズに対応できる定員の適正化を図るため、平成28年4月の職員数を132人と定め、削減に努めてまいりました。

と同等程度勤務する非常勤職員に対し、期末手当を2カ月支給できるように、今定例会に条例改正、予算を提案させていただいているところでございます。

職員数と臨時職員等の数の推移

年度	平成18年	平成24年	平成28年
職員数	178人	144人	134人
臨時職員等の数	38人	51人	63人
計	216人	195人	197人

問 指定管理や外部委託の状況、担い手の若手人材確保はどうか

答 今後もサービス向上と人材確保に努めたい

松田議員 指定管理及び外部委託状況と公共サービスの担い手職員の確保と処遇改善について伺います。

山下町長 指定管理、外部委託の関係でございます。平成18年度から指定管理者制度を順次導入してきており、現在では18施設で実施しています。そのほか施設の管理や各種業務の委託などを含みますと、28年度の総数は311業務となっております。公共のサービスの提供は行政だけでなく、民間事業所、の方々にも担っていただいているのが現状でございます。職種によって異なりますが、若い担い手となる人材を確保しなければならぬサービスもあることから、人材の育成、確保というものは重要なことだと私も認識しております。

問 認定こども園開設に向け、今後どう進めるか

答 今後、整備内容を検討しながら、開園を目指し進めたい

松田議員 第2次総合計画において、幼稚園施設の計画的な整備運用方法を検討するとありますが、本年度、認定こども園の開設に向けた基本構想の策定内容及び今後のスケジュールについて伺います。

渡邊教育長 第2次大空町総合計画では、実施計画上の想定事業といたしまして、幼児教育と保育を一体的に行う施設であります認定こども園整備事業が位置づけられており、計画上の整備予定年度は、女満別地区が平成31年度、東藻琴地区が平成32年度として、このところでございます。ただし、今後の財政状況によっては実施年度の変更も考えられております。スケジュールといったしましては、女満別地区においては、建設候補地の選定



指定管理施設である女満別研修会館



女満別幼稚園

地域振興施設を見てきました！



4月26日、議員全員で「地域振興施設」を見学してきました。1階がレストランや多目的ホール、2階が宿泊施設となっており、9月にオープン予定となっております。

●第18回〔平成29年2月16日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町観光振興計画の策定について	10年間(H29～H38)の観光振興計画の新規策定
◆上記のほか、「農業体験実習生家賃助成金交付要綱の制定について」など全2項目を審議	

●第19回〔平成29年2月27日開催〕

主な審議項目	説明概要等
東藻琴小学校体育館整備事業(物置)について	東藻琴小学校体育館整備事業に係る物置整備分の内容報告

●第20回〔平成29年3月8日開催〕

主な審議項目	説明概要等
平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について	H28年4月～7月まで小5及び中2を対象に全国的に行われた調査結果の報告
◆上記のほか、「町有地(旧町道新富155号線道路敷地)の貸付について」など全2項目を審議	

●第22回〔平成29年3月30日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町の新しい高校づくりについて	大空町の新しい高校づくりに係る現在までの協議経過の報告等
◆上記のほか、「下水道事業経営戦略について」など全5項目を審議	

合同常任委員会 (2常任委員会合同での調査)

●第17回総務厚生・第18回産業建設文教〔平成29年2月16日開催〕

主な審議項目	説明概要等
公の施設の指定管理者の候補者選定結果について	平成29年度完成予定の地域振興施設に係る指定管理者の指定
大空町の新しい高校づくりについて	大空町の新しい高校づくりに係る現在までの協議経過の報告等
◆上記のほか、「大空町地域振興施設の現地調査」など全5項目を調査及び審議	

●第18回総務厚生・第19回産業建設文教〔平成29年2月27日開催〕

主な審議項目	説明概要等
まち・ひと・しごと創生総合戦略について	H27年度策定の「大空町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」に係る検証状況
◆上記のほか、「大空町自治基本条例の見直しについて」など全2項目を審議	

●第19回総務厚生・第20回産業建設文教〔平成29年3月8日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町一般廃棄物処理基本計画について	15年間(H29～43)の廃棄物処理法に基づく一般廃棄物処理に関する計画の策定

●第20回総務厚生・第21回産業建設文教〔平成29年3月13日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町一般廃棄物処理基本計画について	15年間(H29～43)の廃棄物処理法に基づく一般廃棄物処理に関する計画の策定
◆上記のほか、「大空町町営住宅等長寿命化計画について」など全2項目を審議	

総務厚生常任委員会

●第16回〔平成29年2月10日開催〕

主な審議項目	説明概要等
不妊治療費助成金交付要綱の一部改正について	特定不妊治療費助成額1回あたり5万円から7万5千円への見直し等
大空町交通安全計画(案)及びパブリックコメントの結果について	5年間(H28～32)の大空町交通安全計画の内容及びパブリックコメント(意見公募)の結果報告
大空町臨時職員等の勤務条件に関する条例等の一部改正について	大空町臨時職員等への期末手当の支給開始(平成29年度から)
大空町定員適正化計画(案)について	5年間(H29～33)の大空町職員の人員配置・職員数等の適正化に係る計画
条件不利地域における超高速ブロードバンド基盤整備について	町内農村部における超高速ブロードバンド未普及地域への基盤整備に係るアンケート調査等の実施
公共施設への新電力の導入について	一部の公共施設への小売り参入新電力会社からの電力供給の試験的導入実施
◆上記のほか、「大空町職員の給与に関する条例の一部改正について」など全18項目を審議	

●第17回〔平成29年2月16日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町自治基本条例の見直しについて	自治基本条例に基づく条例の見直し状況の報告

●第19回〔平成29年3月8日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町事務改善委員会設置要綱の制定について	大空町の事務処理改善等に関する内部組織の設置

●第21回〔平成29年3月14日開催〕

主な審議項目	説明概要等
プロポーザルによる廃棄物委託業務の進捗状況について	プロポーザルによる廃棄物委託業務に係る現在までの状況報告

●第22回〔平成29年3月30日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町公共施設等総合計画(案)について	10年間(H28～37)の公共施設等の最適化及び負担軽減を目的に策定

産業建設文教常任委員会

●第17回〔平成29年2月10日開催〕

主な審議項目	説明概要等
第3次大空町鳥獣被害防止計画の策定について	3年間(H29～31)の鳥獣被害防止に係る基本的方針の策定
大空町観光振興計画の策定について	10年間(H29～H38)の観光振興計画の新規策定
女満別中学校大規模改修事業について	老朽化に伴う女満別中学校の大規模改修の実施(平成30年度完成予定)
学校用コンピュータ更新事業について	女満別中学校・東藻琴中学校のパソコン機器等更新・タブレット端末等整備
◆上記のほか、「広域穀類乾燥調製貯蔵施設の整備状況について」など全14項目を審議	

